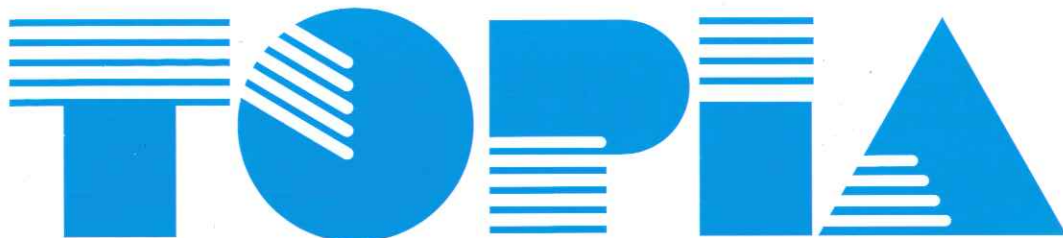


第57号



2013.03



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／財団法人徳島県国際交流協会

TEL: 088-656-3303



やさしい日本語、英語、中国語併記

「地震から命を守る防災ハンドブック」・「緊急カード」完成！

南海トラフの巨大地震の発生が危惧される中、今年度、(財)自治体国際化協会の助成により、当協会では、災害弱者になりやすい在住外国人の方への防災意識の啓発事業を行ってきました。

本国で地震などを全く経験したことのない外国人の方も多く、まずは、地震や津波がどのようなもので、それらの災害から自分や家族の命をどのように守ればいいのか、ということについて、パワーポイントを使って防災出前講座を開催し、防災意識を啓発してきました。

あわせて、外国人の方にもわかり易いやさしい日本語、英語、中国語併記の「地震から命を守る防災ハンドブック」と携帯用の「緊急カード」を作成し、配布しております。

また、この度当協会のボランティア制度と県の地域共生サポーター制度を、一元化して「とくしま外国人支援ネットワーク会員」制度を新設し、新たな支援体制も始動しています。

いつ来るかわからない災害時に、在住外国人の方々が災害弱者にならないよう、今後もこれらの事業を継続し、多くの機関や団体と連携し、支援体制の構築を図っていききたいと思います。

(これらの事業については当協会ホームページでもご覧いただけます。)

災害時ボランティア研修

平成 25 年 2 月 17 日（日）に NPO 法人多文化共生リソースセンター東海代表理事の土井佳彦氏を講師としてお迎えし災害時ボランティア研修を開催しました。徳島県内各地から 24 名の方々が参加して下さいました。参加して下さいしたのは地域共生サポーター、当協会のボランティア通訳に登録をされている方々などです。土井氏は大学で日本語教育を学び、大学や日本語学校、地域のボランティア教室で日本語教育に従事されておりました。2008 年に「特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海」を設立され、東日本大震災発生直後に設置された「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」でセンター長を務められました。

研修は前半に講演、そして後半にはワークショップを行いました。講演は「災害時に必要な通訳・翻訳支援～東日本大震災の経験から～」をテーマに、東日本

大震災での支援活動、日頃の人と人との繋がり、助け合いの大切さ等の内容でした。後半のワークショップでは避難生活で使われる言葉などをやさしい日本語、英語、中国語に言い換える練習をしました。今回の研修では 4 名の高校生の方々の参加もあり、次世代を担う若者たちのエネルギーを実感しました。



徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議 & 多文化共生フォーラム

徳島県内在住外国人の方々の生活に関わる所管事務を担当する国・県・市町村の機関、および相談業務に携わる団体で構成する「徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議」を 3 月 8 日（金）に開催しました。

第 1 部では外国人労働者の相談内容などの質疑応答があり、また、県担当課の国際戦略課から、4 月に開設する「とくしま国際戦略センター」についての説明が行われました。

第 2 部の多文化共生フォーラムでは長岡市国際交流センター「地球広場」センター長の羽賀友信氏を講師としてお迎えし、演題の「多文化・協働型災害支援」に沿って、災害時における避難所の現状や人々の心情、多文化共生の本当の意味、復旧と復興の違い、義援金と支援金の違い、「やさしい日本語」の視点、個人情報保護の壁やボランティアの難しさ、「安全」と「安心」の重要性、在住外国人は協働のパートナーであるというとらえ方など、災害支援についての明確な説明をしていただきました。多くの震災復興に携わってきた羽賀氏の真剣な眼差しに、深い感銘を受けた参加者は多かったように思われます。講演の後も途切れることなく質問が続き、互いの意見を共有することができ、大

変有意義なひと時でした。一般参加の方や、弁護士、国際交流団体、高校生など、それぞれの立場や専門分野で、また関係諸機関が連携して今後具体的にどのように行動するべきか、考えを深めることができました。

今後とも在住外国人をとりまく様々な問題に対して、円滑に対処・支援できるようネットワークの構築を図っていききたいと思います。



日本語指導が必要な児童生徒への支援について

徳島県教育委員会学校政策課
指導主事 田村 康治

1. 現状と取組について

今日の急速な国際化が進展する時代にあって保護者の転居により、海外から子どもを学校へ受け入れることも多くなっています。

帰国・外国人児童生徒は、県下全域に散在しており、平成22年度97人が、平成24年度124人と増加傾向にあります。

これらの子どもたちの中には、日本語の理解力が壁となって、学校の授業内容について理解が不足している子どもや学校生活にスムーズに馴染めない子どもがいます。

そこで、県教育委員会・JTMとくしま日本語ネットワーク・徳島県国際交流協会（TOPIA）・鳴門教育大学・徳島大学が協働で「帰国・外国人児童生徒サポートシステム開発モデル事業」を実施し、日本語指導が必要な児童生徒への支援を行っています。



飯泉知事との意見交換会（わくわくトーク）

2. 学校現場での支援について

スムーズに学校生活に馴染めるように日本語講師や通訳講師が学校で支援を行います。また、教科書の内容等がわかるようになるための学習支援も行います。

さらに、21世紀は共生の時代ともいわれるように、互いの文化や価値観の違いを認め合って生きることが大切にされる時代です。外国にルーツを持つ子どもたちが、周りの子どもたちにとって、異文化に対する相互理解を深め、豊かな国際感覚を養う貴重な存在となるよう支援を行います。



帰国・外国人児童生徒支援のための連絡協議会（年3回）

3. 支援者のネットワークづくりについて

一人でも多くの支援者とネットワークをつなぎ、情報を共有し、日本語が十分理解できないことで苦しむ子どもたちを支援できるよう取り組んでいます。

4. その他

日本語指導が必要な児童生徒も増加傾向にあり、県内に散在しています。日本語講師・通訳講師は現在50人が登録していますが、まだまだ支援者が必要です。

日本語教育に興味のある方や外国語が堪能な方等、御協力いただける方からの連絡をお待ちしております。

（徳島県教育委員会学校政策課 連絡先088-621-3197）



日本語教育のための研修会の様子（鳴門教育大学）

後会有期、徳島！

徳島県国際交流員
羅 拓夫

徳

島県で国際交流員として仕事を始めてから、もう2年近くなります。短い間でしたが、皆様から多大なお心遣いを賜わり、仕事と生活上でいろいろな便宜を図っていただき、誠にありがとうございました。

徳島での仕事と生活は私にとってとても有意義でありました。徳島県と湖南省は2011年10月に友好提携を結び、2012年1月から徳島阿波おどり空港と湖南省長沙黄花空港間でのチャーター便を運行したことで友好関係を深めました。2012年5月に湖南省長沙市で行われた中国中部地域博覧会も徳島県から訪問団を派遣し、6月には湖南省湘潭大学の学長をはじめ訪問団が来徳するなど多くの交流成果を上げました。私はこのような事業に携わることができ、大変貴重な経験を得ることができました。これは私の人生にとって輝くワンステップだと感じました。

徳島県でいろいろな国際交流イベントにも参加させていただきました。私はあそわ連のメンバーとして阿波踊りを2回も踊りました。藍住西小学校を訪問したときは、子供たちと楽しい話をし、今もその子供たちの笑顔が忘れられなく心に残っております。皆様のご支援、ご指導がないとできない事と存じております。改めてここで深くお礼を申し上げます。

中日関係は長い交流歴史の中で、文化、経済、技術などの分野に渡り、お互いに勉強し、ともに発展していく歴史が主です。今後とも、両国が共に知恵を絞って、平和と友好へ向かって、難しい局面を乗り越えるため、有志の皆様と一緒に緊密に携え合い、いたわり合って、協力し合いながら、事を解決することを心より願っています。

ありがとう、TOPIA

臨時職員
柴田 果林

ト

ピアに来てから、はや1年が経ちました。働き始めたときは仕事の進め方がなかなかつかめませんでしたが、今ではすっかり慣れてマイペースに仕事をしています。

振り返ってみると、あそわ連に参加して初めて阿波踊りを踊ったり、トピアの研修会に参加したり、たくさん思い出ができました。以前の職場では受付をしていて一人で過ごすことが多かったのですが、トピアのみなさんと過ごした時間はとても楽しく、この一年間は毎日笑っていた気がします。また、トピアでは外国人の方と接する機会が多く、外国語ができないからといって身構えることが少なくなりました。それは私にとって一番の収穫かもしれません。

3月で退職するのは少しさみしいですが、春からはまた新しい出会いを求めて旅立ちたいと思います。どこかで見かけたら声をかけてくださいね。ありがとうございました！



トピアでの仕事を終えて

研修生
西林 悦子

1 年という短い期間ではありましたが、トピアでの仕事を終えて、本当に充実した毎日であったと感無量です。教育現場とは異なった新しい職場で、最初は戸惑も多く不安な気持ちでいっぱいでしたが、優しく丁寧に指導して下さったスタッフの皆様をはじめトピアで出会った全ての方々に、ずいぶんと支えていただきました。心より感謝の気持ちを伝えたいと思います。

研修生として、さまざまな体験をさせていただき、振り返ると一つひとつが大切な思い出となっています。まず「国際理解支援講師派遣事業」に携わることができたことは、自分自身が世界に目を向けるきっかけとなりました。学校訪問の打ち合わせをしていくなかで、講師の方々の優しさや思いやり、たくましさなど、人として大切なことを教えていただくことが多かったように思います。講師の方々には本当にお世話になりました。今後は教育現場に戻り、子どもたちには世界の人々との交流を通して視野を広げ、私自身も多文化共生社会の実現のためにできることを実践していきたいと思っています。これからも、どうぞよろしくをお願いします。

また、日本語教室での日本語指導を通して、日本語学習の難しさを痛感するとともに、学習者の日本語学習に対する熱意をひしひしと感じました。また観光案

内業務や生活情報の提供では、多種多様な問い合わせに、まず自分自身が知らないことも多く、実際観光地に足を運んだりして実体験を通した学びをもとに、おもてなしの気持ちを大切にしながら、迅速かつ正確に情報提供することを心がけました。他にも中高生英語セミナーやあらそわ連、ホームステイホームビジット、研修会など、数々の思い出を書き始めると、紙面が全く足りないのがとても残念ですが、これらのすべてが私のかげがいのない財産になったことを明言したいです。

最後に、1年間力不足でご迷惑をおかけしたことを陳謝するとともに、トピアで出会った全ての方々に深謝し、皆様のご健勝とご多幸をお祈りして、お礼挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



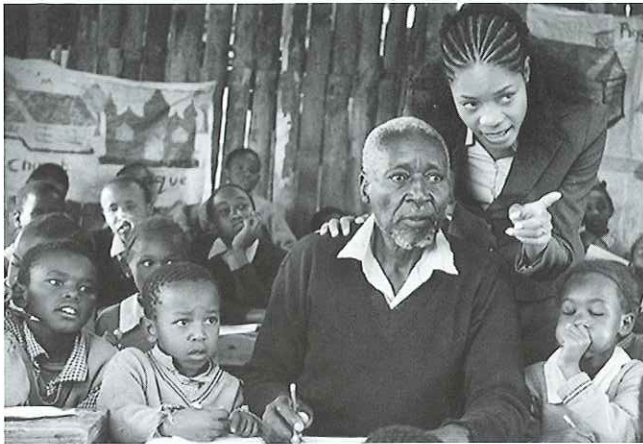
2013 年度外国人による徳島県日本語弁論大会 出場者大募集

お知り合いの外国人の方にぜひおすすめ下さい！

1. 日時・場所 2013年7月21日(日) 13:30～16:30
あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) 5F 小ホール
2. 発表者 徳島県内在住の日本語を母語としない外国人から募集し、書類審査で10～12名程度を選考、発表者とします。(ただし、前回までの出場者は除きます。また、国際色を豊かにするため1か国1名程度、応募者が多い国については2名程度とします。)
3. テーマ この大会の開催趣旨に沿ったもので、国際理解・国際協力に関するものであれば自由です。
4. 弁論時間 一人当たりの発表時間は、7分以内とします。
5. 主催/出場申込 財団法人徳島県国際交流協会(トピア/TOPIA)
6. 申込方法 申込用紙を上記まで郵送、FAX、又は持参してください。
7. 締切 2013年5月24日(金) 午後5時必着

JICAボランティア春募集特別イベント
ぜひお越しください!!

脇町オデオン座&アスティとくしまで無料上映会を開催!



「おじいさんと草原の小学校（脇町）」

アフリカ大陸ケニア。マルゲの夢は、学校に行くこと。学びたい、その強い気持ちが奇跡を起こす。過去に打ち勝ち、未来を変えた84歳の小学生の、これは真実の物語。



「幸せの経済学（アスティとくしま）」

グローバル化の進む今、問われる幸せとは? 真の豊かさとは? この映画は人や自然とのつながりを取り戻す暮らし方や、幸せに暮らすための様々なヒントを私たちに与えてくれます。

シネマ&JICAボランティア（青年海外協力隊・シニア海外ボランティア）体験談・春募集説明会

① 4月7日(日) 脇町劇場(オデオン座)

第1部 14:00~16:00 「おじいさんと草原の小学校」 申込順 定員100名
第2部 16:00~17:00 JICAボランティア体験談(徳島出身)&春募集説明会

② 4月14日(日) アスティとくしま 第2特別会議室

第1部 14:00~16:00 「幸せの経済学」 申込順 定員100名
第2部 16:00~17:00 JICAボランティア体験談(徳島出身)&春募集説明会

シネマ(第1部)&体験談・説明会(第2部)の2部制で開催します。どちらか一方への参加も可能です。なお第2部のみ参加される場合は、参加申込は不要です。

〈JICAボランティア春募集受付期間〉

2013年4月1日~5月13日

詳細は下記問い合わせ先、またはJICAホームページ:
<http://www.jica.go.jp/volunteer/> を参照下さい。



撮影:来島さん(青年海外協力隊、理数科教師としてマラウイ派遣中)

シネマ参加お申込み・お問い合わせ先

シネマ参加予定人数をファックス、メールまたは電話でお知らせください。

【JICA徳島デスク(TOPIA内) 担当:中川(なかがわ)】

ファックス:088-652-0616 電話:088-656-3303

メール:jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

Japanese Lessons 2013

平成 25 年度前期 TOPIA 日本語教室 受講案内

■クラスおよび講師

*クラスはそれぞれ全 20 回ずつです。教科書「みんなの日本語 I」または、「みんなの日本語 II」が必要です。

ただし、水・土曜日の「総合的・グループレッスン」受講者は、必要な場合のみ購入ください。

※一度納入した受講料は、途中で受講しなくなっても返金しません。

日	時 間	クラス・講師	講 義 内 容	開始
火	10:30 ↓ 12:00	初級 I 元木	動詞のいろいろな活用形、また、それらを使った文型を学習する。 《みんなの日本語 I》14 課から	4/16
水	10:30 ↓ 12:00	総合的 グループ レッスン	サロン形式で、学習者のニーズに応じて自由に日本語を学ぶ。 *子育て中の方は、隣の会議室で開催する子育てサロンで保育士に子どもを預けることができる(要予約)	4/10
木	10:30 ↓ 12:00	初級 III 山田	初級後半、理由、受身、使役、敬語表現などを学ぶ。 《みんなの日本語 II》38 課から	4/11
金	10:30 ↓ 12:00	入門 青木	日本語の基本的な表現を初歩から学習する。 《みんなの日本語 I》1 課から	4/12
土	10:30 ↓ 12:00	総 合 的 グループ レッスン	サロン形式で、学習者のニーズに応じて自由に日本語を学ぶ。	4/13
日	10:30 ↓ 12:00	初級 II JTM	動詞のいろいろな活用形を学び、豊かな表現を学習する。 《みんなの日本語 II》26 課から	4/14
		入門・初級 I 初級 III グループ学習	週末しかトピアの日本語教室に参加できない学習者のための教室。 《みんなの日本語 I》1 課～13 課と、14 課～25 課《みんなの日本語 II》38 課～50 課までの 3 つに分け、レベルに合うグループで学習する。 なお、どこにも該当しない方のためのクラスを 2 つ併設する。	4/14

1. 対 象 徳島県在住の外国人
2. 場所及び連絡先 財団法人徳島県国際交流協会 (TOPIA)
〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61 徳島クレメントプラザ 6 F
Tel. 088-656-3303 FAX: 088-652-0616
3. 受講料(資料代含む) 1,500円(全20回)。ただし、申し込み時、受講回数が10回未満の場合は750円になります。(クラスのレベルが合わない等の理由でクラスを変更する時は、届け出をすれば、2度払う必要はありません。)
4. そ の 他 ①教科書「みんなの日本語 I」または、「みんなの日本語 II」を各自購入して下さい。
②受講希望者は TOPIA カウンターにて申し込んでください。
③2 クラス以上の受講を希望する場合は、受講するクラス数分の資料代をお支払いください。
④申し込み後クラスを変更したいときには、必ず TOPIA 職員にお申し出ください。

木 (無料 クラス)	10:30 ↓ 12:00	特別入門 木村 ほか	ひらがな・カタカナが読めない、書けない人が対象。かなの読み書きを学びながら語いを増やし、上記の日本語クラスでの勉強につなげられるような学習を行う。また、生活情報の交換・案内なども随時行う。	通年
------------------	---------------------	------------------	--	----

*天候(台風・大雨・大雪)の状況により急に休講になることがあります。ご了承下さい。

その場合、クラスがあるかないか分からない場合は電話でご確認ください。(088-656-3303) 【午前10時30分～】

★阿南市国際交流協会・藍住町国際交流協会・吉野川市国際交流協会・NPO法人美馬の里でも日本語教室を開催しています。

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」 募 集 中

当協会のボランティア制度と、県の地域共生サポーター制度を、今年度一元化し、ボランティア制度の運用及びボランティアの方の活動が円滑にできるよう「とくしま外国人支援ネットワーク会員」制度を新設しました。自主的に外国人の方を支援していただく地域共生サポーター、語学ボランティア、災害時通訳ボランティア、ホームステイ・ホームビジットボランティア、活動支援ボランティアのうち、ご協力いただけるものにご登録いただくものです。

東日本大震災から2年。ますます南海トラフの巨大地震も危惧されています。ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめ、この制度に、多くの皆様にご登録いただき、ご協力いただければ幸いです。

この制度の詳細な内容、登録書類、ボランティア依頼の申請書につきましては、当協会ホームページからダウンロードできます。

英語・中国語 多言語電話相談（窓口案内）員

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、さらにきめ細かく生活相談や観光案内をすることができるよう、英語・中国語対応の多言語電話相談（窓口案内）員を配置しております。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフォン）もごございます。是非、ご活用ください。

英語担当：池上 中国語担当：藤原
受付時間：毎日 10:00～18:00
TEL：088-656-3320（相談電話）

全ての依頼に応えられない場合もあります。ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受け取ることができます。

年会費 個人会員 一口 3,000 円 / 年度
団体会員 一口 5,000 円 / 年度
詳細は当協会まで。資料をお送りします。

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

楽しく、愉快地に多文化交流 & 異文化理解！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流事業などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

多文化共生 DVD の貸出

多文化共生の理解促進のために、県内在住外国人等の現状や、多文化共生の理念などを紹介する DVD を貸し出しております。学校等で是非ご活用ください。

なお YOUTUBE の徳島チャンネルにも掲載しておりますので是非ご覧ください。

<http://www.youtube.com/user/tokushimakouhou/>

編 集 後 記

春の訪れを感じるようになりました。それと同時に、花粉症の方々の姿を多く見かけるようになりました。みなさま、どうぞかご自愛くださいませ。

このページ問い合わせ：財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61

クレメントプラザ 6F

Tel：088-656-3303 Fax：088-652-0616

URL：http://www.topia.ne.jp

Email：topia@topia.ne.jp